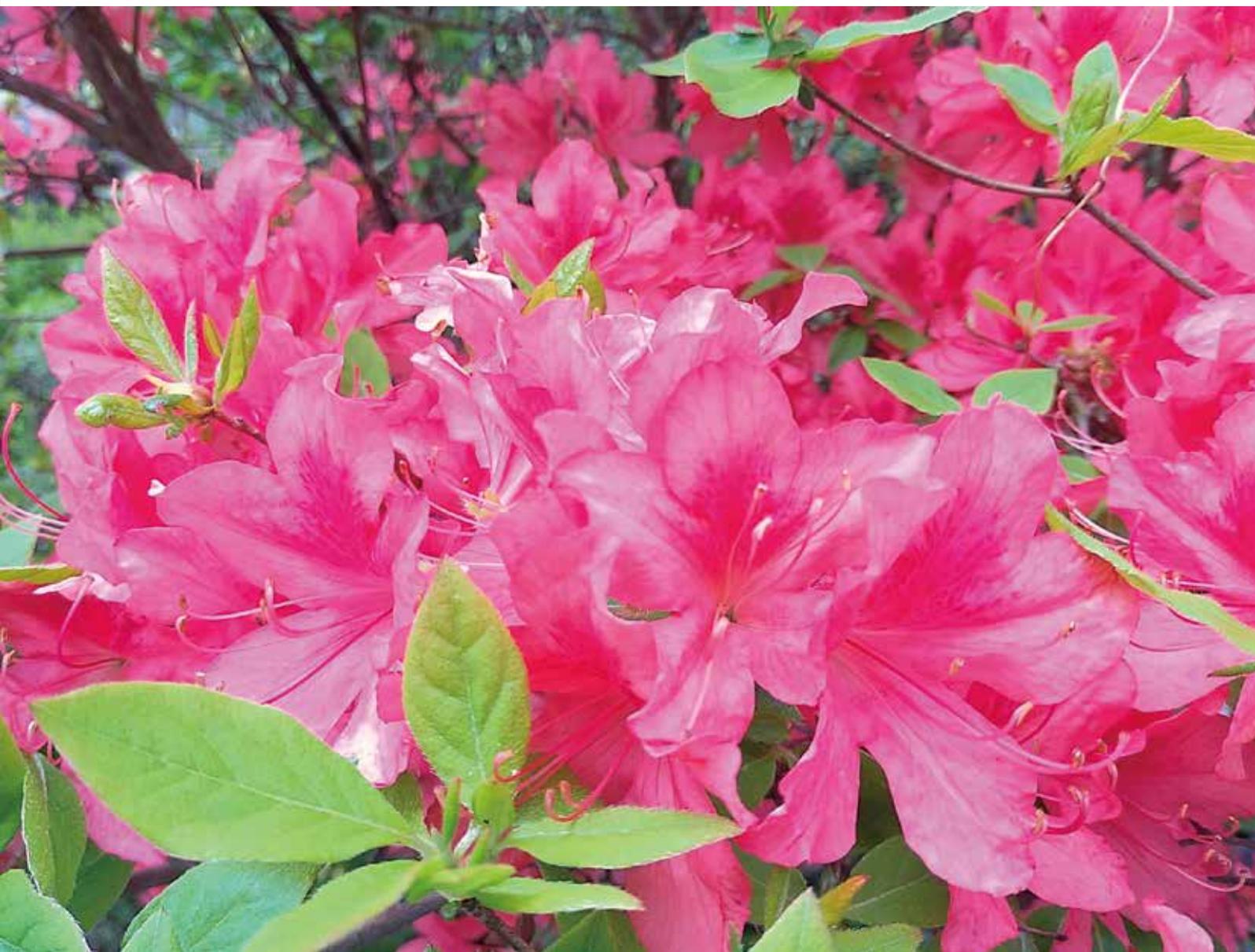


議会だより

No.65

2024年5月発行



歩くたびに出会う、春の訪れ

GWのお散歩で見つけたお花たちの中から1枚。
春の花って、かわいくって元気をもらえますね。

中組地区にて撮影

写真提供：青柳泰葉さん（中組地区在住）

小菅村の総合情報サイト「こ、こすげえー」公式Instagramより、鮮やかなヤマツツジを写した一枚。鮮やかな花が村のあちこちで見られると、「ああ、小菅にも春が来たな」と感じます。今年は咲き始めるのが遅かったように感じましたが、例年通り綺麗な花を見ることができました。

TOPIC

- 3月定例会
- 一般質問
- 活動報告
- 子どもは村の宝



発行：小菅村議会

編集：小菅村議会広報編集常任委員会
山梨県北都留郡小菅村4698番地

☎ 0428-87-0111

こんなことが決まりました

3月定例会

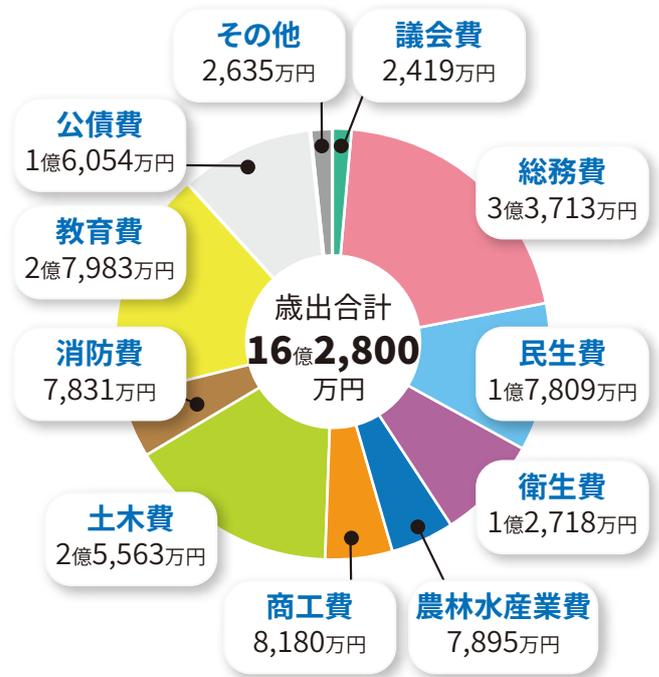
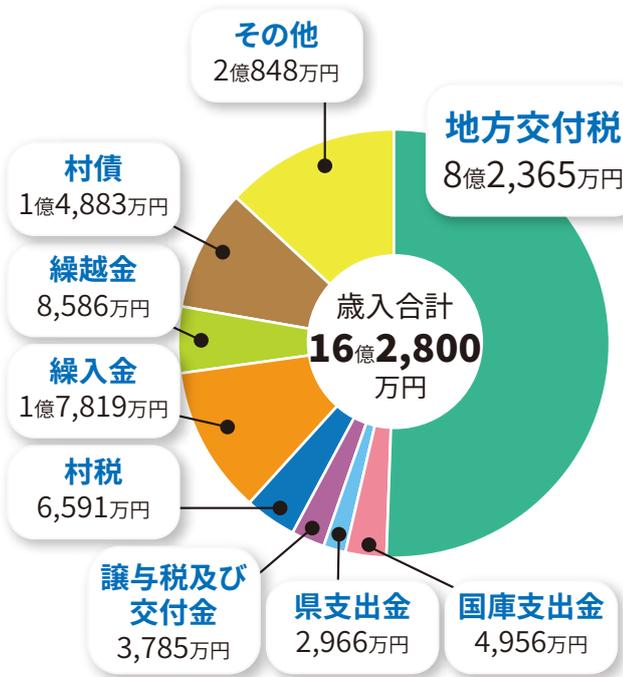
- 令和6年3月7日(木)から3月15日(金)までの9日間の会期で開催されました
- 村長提出議案・・・25件
- 議会提出議案・・・1件

当初予算

※金額は、万円未満四捨五入にて記載しています。

令和6年度一般会計、特別会計、公営企業会計の当初予算を可決しました

一般会計 16億2,800万円



● 令和6年度 特別会計当初予算額

会計名	令和6年度予算	令和5年度予算	増減率
国民健康保険特別会計	1億2,753万円	1億4,410万円	88.5%
国民健康保険診療事業特別会計	6,256万円	6,396万円	97.8%
介護保険特別会計	1億6,663万円	1億6,973万円	98.2%
介護サービス事業特別会計	4万円	4万円	100.0%
後期高齢者医療特別会計	1,819万円	1,421万円	128.0%
合計	3億7,495万円	3億9,204万円	95.6%

令和6年度 公営企業会計予算額

会計名	補正予算額	総額
簡易水道事業会計	1億7,895万円	1億8,982万円
下水道事業会計	2億1,765万円	2億3,671万円
合計	3億9,660万円	4億2,653万円

解説 特定環境保全公共下水道特別会計と、農業集落排水事業特別会計が1つになり、「下水道事業会計」となります。

専決処分

令和5年度小菅村一般会計補正予算 専決処分の承認を求める件

第7弾小菅村暮らし応援商品券の発行、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金を支給するため、982万円の増額補正を行いました。

補正予算

一般会計予算、特別会計予算を可決 しました

会計名	補正予算額	総額
一般会計（第6号）	3億389万円	15億4,598万円
国民健康保険特別会計（第3号）	△1,986万円	1億2,613万円
国民健康保険診療事業特別会計（第2号）	20万円	6,481万円
介護保険特別会計（第3号）	149万円	1億8,955万円
後期高齢者医療特別会計（第1号）	6万円	1,427万円

条例改正

●小菅村議会委員会条例の一部改正
村議会議員が様々な理由により委員会に出席することができない場合、オンラインでの出席が可能となりました。

●小菅村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
会計年度任用職員へ勤勉手当を支給できるようになりました。

●小菅村職員の育児休業に関する条例の一部改正
育児休業をしている会計年度任用職員に期末手当等の支給ができるようになりました。

●小菅村子ども医療費助成金支給条例の一部改正
対象年齢の上限を15歳から18歳に引き上げました。

●小菅村国民健康保険税条例の一部改正
令和6年4月から国民健康保険税の賦課限度額を引き上げるとともに、軽減措置について5割軽減と2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準が改正されました。

●小菅村介護保険条例の一部改正
令和6年度から開始される第9期介護保険事業計画において、介護保険料基準額等が変更となるため、計画に合わせた改正を行いました。

人事案件

●小菅村教育委員会委員の任命
古家知佳子氏の任命を同意しました。

会期中に 村内視察を行いました



▲ 白沢に建設中の村営住宅 / スマートストア

一般質問

3月定例会では3名が村政について質問を行いました

一般質問とは、議員から村への質問・提言です。
掲載内容は、要点をまとめて主な質問項目を掲載しています。



木下 善満

令和2年5月村長選で示された公約の達成・進捗状況

問 第5次総合計画策定は皆さんの声を反映しながら推進できたか？

村長 各種団体の活動の状況、今後の活動の意向などを把握するヒアリングを21団体行った。村民を対象としたグループワーキングでは、16名の皆さんに参加していただき、10年後のあるべき姿である将来像をイメージしてもらいながら、様々な意見をいただいた。また、16歳以上を対象とした村民の意識や意見等の把握を目的に、アンケート調査を行った。これらの意見を取りまとめ、15名の委員で総合計画の審査会が構成され、ご審議いただいた。令和4年3月に第5次総合計画を策定し、令和13年度の目標人口680人の維持と5つの分野別の目標を達成するよう目指している。

問 給食費の負担軽減、未満児保育の実現は？

村長 長年1食当たりの負担単価を低額で定めており、物価高騰があったが、値上げすることなく、今までの形をとっている。子どもたちの安心で充実した食の環境確保について、社会で取り組む必要があるため、当村においても令和6年度より、給食費の無償化を実施する。

1歳児の保育所受け入れについては、令和5年度から実施している。0歳児の受け入れについては、保育士の人員確保が大変厳しく、



▲ 1・2歳児も一緒に芋ほり

現状としてはできない状況ということでご理解いただきたい。

問 「道の駅の周辺整備を行い、農林水産物販売促進や遊び場確保」は？

村長 物産館全体の売上げは、令和4年度1億4,300万円と、順調に売上げを伸ばしている状況。ただ獣害やインボイスの関係で生産者には厳しい状況のため、農産物等をぜひ出していただけるように今後も体制づくりを進めていきたい。遊び場確保については、令和3年度からマウンテンバイクを導入しており、本格的に令和6年度から実施することとなる。以前1か所、遊具等のある遊び場があったが撤去したので、ゆくゆくは子どもたちのために作っていききたいと思っている。

問 日陰対策の対策費はどのぐらい増額されたか？

村長 令和3年度は予算400万円に対し3か所245万8,000円の実施、令和4年度、予算額400万円に対し2か所86万1,000円の実施、令和5年度は予算額400万円に対し3か所300万円の実施。一挙に倍増するというのも一つの手だが、交渉がついたところから徐々にやっていく状況のため、毎年毎年安定的な予算でやっていきたい。

4期目の出馬の意向

問 4期目の出馬の意向については？

村長 4期目の出馬については、村民の皆さんや支援者からお声をいただいた。多選批判というものもあるが、これまで築いてきた人脈や民間企業とのつながり、ホテルや、ドローン、ビール製造等々について、さらに民間企業とのコラボを進めていきたいという思いでいる。そして、(株)源の運営も軌道に乗ってきたところなので、もう少し経営に携わっていかなくてはならないと感じている。また、旧かどや、地方創生、エネルギー対策、空き施設の有効利用等、まだまだやり残したことが多々あるため、出馬を決意した。



細川 春雄

小菅村の防災対策等

問 小菅村地域防災計画の改定は？

総務課長 小菅村地域防災計画の改定については、今まで見直しを行っていないが、同時期に策定した土砂災害ハザードマップは、県の再調査があり、土砂災害警戒区域が14か所追加されることになったため、令和6年度中の改定を計画している。地域防災計画は来年度以降、早い時期に着手できるように進めていきたい。

問 防災倉庫の防災資機材の見直しと、水問題、トイレ問題についての考えは？

総務課長 令和6年度では、ガソリン缶、マジックライス、ビスケット、保存水も改めて配備する計画でいる。水問題については、貯水タンクを整備し、運搬できる仕組みを考えていく必要があるが、当面は源流水を製造するために使用し



している1セタンクを併用していくことが可能かと思われる。富士山噴火が叫ばれている中、火山灰による簡易水道の汚染も視野に入れていかなければならないが、大規模な浄化槽の貯水タンクは大変高額なものとなるため、慎重に判断していきたい。

また、トイレ問題については、各防災倉庫に100回分使用できるスケットイレを1セット配備している。指定避難所の防災倉庫にはスケットイレのほか、現場トイレセットが配備され、100回分の使用が可能となっている。大規模な地震等の災害では、下水管の破損はもとより、下水処理場が利用できないことも想定されるため、常に必要個数の見直しとトイレ備品の見直しを進めていきたい。

問 災害時に村や集落が孤立状態となった時の対応について、ドローン会社等と協定を結んでいるか？

源流振興課長 令和2年11月に(株)エアロネクストとドローン配送導入による地域活性化と新スマート物流の社会実装に向けた連携協定を締結した。災害については、連携協定第2条に、ドローン配送導入による地域防災への貢献及び社会インフラの整備に関する事項が盛り込まれている。地域防災への貢献については、(株)エアロネクストの100%子会社である(株)NEXT DELIVERYが小菅村に本社を構えており、能登半島地震において国や被災市町村からの要請により、いち早くドローンによる医薬品配送を行い、その実績が関係機関より高く評価を受けている。以上の実績から災害におけるドローンの活用は十分期待できるものと考えている。

問 一般住宅の耐震化診断と耐震化率、耐震改修工事の実施状況は？

源流振興課長 令和2年度に策定した、小菅村耐震改修促進計画によると、小菅村の住宅棟数は473戸、昭和55年以前に建築された住宅は213戸で全体の45%となっている。令和5年度末で、延べ81軒について耐震診断を実施した。耐震化率については、令和2年度時点で57%と、県平均と比べても低い数値になっている。また、補助金を活用した耐震化改修工事についても申請実績がない状況。村としても木造住宅の耐震化に向けて、広報等普及啓発に加え、個別の相談受付や働きかけを実施しているが、個人負担を要すること、また高齢者夫婦世帯、独居世帯が増加していることなどを要因に、進んでいないのが現状。

問 橋梁耐震化について、今後どのように取り組んでいくのか？

源流振興課長 現在、村で管理している橋梁は27橋。橋梁は5年ごとに国土交通省の示すガイドラインに基づき点検が義務づけられており、令和元年度に2巡目となる点検を実施し、令和2年度に白沢橋、令和4年度におろ沢橋の改修工事が完了し、現在は橋の安全性が確保されている状況。橋梁の多くが供用開始から25年以上、長いもので50年以上経過しているものもある。令和4年度に改定を行った、小菅村橋梁長寿命化修繕計画に基づき、令和6年度全橋梁を対象とした橋梁点検を実施する費用を当初予算に計上した。



中川 勇

教育行政

問 教育長に就任し1年が経とうとしているが、小菅村の教育行政について感じていること等をお聞きたい。

教育長 昨年4月に教育長を拝命し、多くの皆様に支えていただきながらようやく職務の見通しが立った。この1年の成果と進捗状況は1点目として、コロナ5類移行に伴い、学校教育との再連携と重点的な取組を行い、着実に成果を上げること注力した。その結果、コミュニティ・スクールは本年4月以降に学校運営協議会を発足し、実質的な活動に入る。また保幼小中連携は、中学生から小学生への読み聞かせや中学生の保育実習など、年間44回の活動を実施し、今後は保育所との連携をさらに進めていく。公営塾については学習塾の機能と子どもの居場所的な要素も盛り込んだ塾として、令和6年度から希望者を募り、スタートする運びとなっている。

2点目にコロナの影響等により中止していた源流親子留学は、有楽町のふるさと回帰支援センターへの依頼や山梨県二拠点居住推進グループとの連携により、最終的に受入れ家庭を2軒と決定した。

3点目にスポーツ・文化関係の環境整備として、スポーツ・文化活動県外派遣助成報奨金制度を整備し、村民で第1号となる亀井翔さんへの交付を実施した。また村史編さん事業では、資料編の整備・印刷までを、この3月末に終わることができる見込みとなった。

最後に小菅村では、教室やイベント等が様々な団体の主体性により意欲的に運営されていることを強く感じている。しかも参加する年齢層が幅広く、これらのイベントにより村民相互のコミュニケーションがより深く醸造される場となっていることが素晴らしいことであり、強みで

もあると考える。今後は多くの年代を対象とした文化的な活動の充実や、中央公民館等を核にした年代に応じた居場所づくりができればと考えている。

学校部活動の地域連携など

問 中学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行について現段階での状況は？

教育課長 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要があることから、国は令和4年12月にガイドラインを示し、これを踏まえて県でも、令和5年12月にガイドラインを示した。本村の部活動は、陸上部・卓球部・アート部があり、全ての部において平日・休日問わず中学校の教職員が指導を行っている。

村では令和6年度以降に協議会を設置する予定で、その協議会では学校関係者や保護者・地域住民等を委員とし、学校と地域との連携・協働により、生徒の活動の場として部活動の在り方について検討していきたい。

伝統芸能の継承

問 村内各地域の伝統芸能の継承について村の考えは？

教育課長 伝統芸能は、長い歴史と文化的な重みを持ち、村の文化資産の一部として大切にされてきた。しかし、人口減少や高齢化による継承者の減少などの要因により、継承が困難な状況に直面している。村では、文化財保護補助金として郷土芸能保存活動への支援等を行っているが、伝統芸能を継承していくためには、教育や資金支援、デジタル技術の活用など、様々なアプローチを組み合わせる取り組みが重要



であると捉えている。今後は、各地区や氏子、保存会の方々の意見を聞きながら継続に向けて検討していきたい。

活動報告

東京都狛江市議会傍聴・交流

3月1日に議会初の試みとして、住民交流友好都市狛江市の市議会議員と小菅村議会議員との交流を狛江市で行いました。

昨年、新しい議員になってから、住民交流友好都市の狛江市議会議員との交流の計画を進めてきました。狛江市は人口8万人を超える市で、市議会議員が22名の議会です。小菅村は、人口600人強で村議会議員が8名と規模は異なりますが、有意義な交流ができました。

当日は、午後1時30分からの狛江市議会本会議の一般質問を傍聴しました。自由民主党、公明党、共産党などの各会派から、様々な質問が市当局にされ、それぞれ1時間の割り当て時間をしっかり使い細かい質問を行っていました。質問の仕方や答弁の方法等大変参考になりましたので、狛江市議会

での傍聴で得られたことを今後の議会運営に生かしていきたいと思いました。

午後5時過ぎからは、狛江市役所1階レストランで懇親会が開催され、議員ひとり一人が狛江の議員さん方と有意義な情報交換がなされ、議員全員「大変有意義な交流会になった」との感想を述べていました。

今後は、双方で定期的に交流することを申し合わせて交流会が終了しました。(議長 青柳諭)



子どもは村の宝

保育園児のいる家庭にスポットを当て、お話を伺いました。

Q 小菅に来たきっかけを教えてください。

A 地域おこし協力隊として平成27年に委嘱を受けたのがきっかけでした。その後、平成30年に結婚し、翌年妻も小菅村へ移住してきました。

Q 明莉ちゃんの好きなことは何ですか？

A 消防車が好きで、保育所で消防ごっこをして楽しんでいます。食べ物ではウィンナーが大好きです。

Q 子育て支援で村や議会に要望はありますか？

A 休日は遊び場所を求めて、村外に行くことが多いのが正直なところ。公園や屋内の遊びスペースなどがあれば嬉しいです。

またうちは共働きなので、子どもの就学後を考えると、子どもを預けられるところ（学童保育）が充実しているとありがたいです。

小菅村に移住され、結婚・子育てをされているご家庭にお話しをお聞きすることができました。子育て支援の要望もお聞きしましたので、それにお応えできるよう、議会でも提案してまいります。寺田さんありがとうございました。

ひろし かおり
寺田寛さん・華織さん
あかり
明莉ちゃん(年中)



議会のあゆみ

令和5年12月～令和6年2月

12月

- 7日 議会運営委員会
木下委員長以下3名、正副議長出席
- 12日 12月定例議会開会 全議員出席
- 13日 奥多摩町正副議長就任挨拶 正副議長対応
- 14日 令和5年度大菩薩御光太鼓保存会総会
議長出席
- 15日 第64号議会だより編集会議
木下委員長以下3名出席
- 18日 多摩川源流トレイルラン大会実行委員会
議長出席

1月

- 2日 小菅村成人式 全議員出席
- 4日 令和6年度予算編成に対する要望書提出
細川総務教育常任委員長、
中川厚生経済常任委員長出席
- 10日 令和6年町村長・町村議会議長新年互例会
議長出席
- 14日 小菅村消防出初式 全議員出席
- 29日 小菅村観光協会・商工会・食品衛生協会
新年会 議長出席

2月

- 1日 第29回山梨県市町村自治講演会
全議員出席
- 1日 山梨県総合計画・県政課題に関する説明会
全議員出席
- 8日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会全員
協議会 中川厚生経済常任委員長出席
- 10日 第3回山身連市町村議会議員懇談会
細川総務教育常任委員長、
中川厚生経済常任委員長出席
- 13日 三か町村連絡協議会 正副議長出席
- 20日 第4回例月出納検査 青柳監査委員出席
- 22日 小菅中学校第3学年総合的な学習の時間発表会
議長以下6名出席
- 22日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会
中川厚生経済常任委員長出席
- 26日 小菅村漁業協同組合第73回通常総会
議長出席

3.12 村長から諮問を受けた「村内遊休公共施設等の利活用の対策について」答申しました



議会だよりを読んで

ふるや みき
古家 美貴さん（橋立地区在住）

議会だよりを拝読することは、議会での審議内容・一般質問、議会活動等、議員の皆様の活動を知る機会になっています。また機会がありましたら議会の傍聴もさせていただきたいと思っております。「子どもは村の宝」という記事を拝読し、村民の顔を見て村民の生の声を聴くことは、村づくりにとても大切なことであると感じています。今後も多くの住民の思いや要望を届けていただき、ともに村づくりを進めていきたいと思っております。

編集後記

議会広報編集委員会・議会事務局は、定例会終了後に会議を行い、議会だよりのレイアウトや内容・構成について話し合いを重ねてきました。会議の中で皆で知恵を出し合いながら、皆様が読みやすいように縦書きから横書きのレイアウトにすることとしました。今後も手に取って見ていただける議会だよりの発行に努めてまいります。（議会広報編集委員長 木下大吉）

議会広報編集 常任委員会

委員長：木下 大吉
委員：中川 勇
委員：岡部 一美